

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 386 事業名 育成（療育）医療費給付事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		母子衛生費
	大事業		母子衛生事業
事項		育成（療育）医療費給付事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	3	母子保健対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	永年	～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次(433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	18歳未満の児童で身体に障害（一部先天性に限る）があり、その障害や病気を放置すると、将来において身体に障害を残すと認められる場合。手術等を行なうことにより、確実な治療効果が期待できるものを対象に、日常生活能力を回復、向上、もしくは獲得させることを目的としておこなう手術等の医療費の一部を公費で負担するための事業です。	事前申請が原則です。治療を開始、または入院するまでに受給者証の発行を受ける必要があります。またそれともなう器具等の申請が必要な場合があります。受給者証に記載された指定医療機関・指定調剤薬局以外では受給がうけられません。承認有効期間は原則3ヶ月です。 市町村民税（所得割額）23万5千円以上の方（「重度かつ継続」の対象範囲の方はこの限りではありません。）市町村民税（所得割額）の確認の出来ない方は承認されません。				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	身体に障害のある児童に対しての医療給付申請事務・医療券の交付事務を行った申請件数128件	身体に障害のある児童に対しての医療給付申請事務・医療券の交付事務を行った申請件数119件	身体に障害のある児童に対しての医療給付申請事務・医療券の交付事務を行った申請件数131件			

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	11,063	9,817	9,963	14,102	9,961	8,609	10,690		10,690		
	伸び率 (%)	-	-	-9.9%		0.0%		7.3%		0.0%		
	人件費	常勤職員	4,743	5,336	5,336	2,281	2,281	2,296	2,281		2,281	
		非常勤職員										
	小計	4,743	5,336	5,336	2,281	2,281	2,296	2,281		2,281		
	国庫支出金	5,500	4,702	4,950	4,786	4,950	5,291	5,314		5,314		
	県支出金											
	市債											
その他	1	0	1	0	1	0	1		1			
一般財源（税等）	5,562	5,115	5,012	9,316	5,011	3,318	5,375		5,375			
所要人数	常勤職員	0.62	0.7	0.7	0.3	0.7	0.3	0.7		0.7		
	非常勤職員											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	受付件数	年度目標値							
		実績値			128	119	131		
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		100.0%	100.0%	100.0%
			年度別達成度						
	単位	件	年度目標値						
実績値									
単位	件	全体目標値		全体目標達成度		200	200	200	
		年度別達成度		64.0%	59.5%	65.5%			
単位	人	年度目標値							
		実績値			128	119	131		
単位	人	全体目標値		全体目標達成度		200	200	200	
		年度別達成度		64.0%	59.5%	65.5%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	国の補助事業であり、現状の医療給付を継続しておこなってゆく。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	